

広島県各市町における地域交通マネジメントの効果的展開に向けた支援のあり方 ～ 3年間の仮説検証型の公共交通計画策定研修を通じて～

広島県！
仮説
検証型
マネジメント

柴田 益良, 石田 大輝 | 広島県地域政策局公共交通政策課
土崎 伸, 八木 彰一, 東川 祐樹, 吉川 令, 久谷 真輝, アリベツ フェリム | 株式会社オリエンタルコンサルタンツ
神田 佑亮 | 呉工業高等専門学校 渡邊 一成 | 福山市立大学大学院 力石 真 | 広島大学大学院

1 | 背景

厳しい状況の中、前向きな展開創出が難

【課題認識】前向きに取り組が進む、実行性高い計画が必要では？

- ・自動車利用への依存、人口減、コロナ等、地域交通の厳しい状況が続く…
- ・公共交通だけで考え、負のスパイラルに
- ・多くの地域で、赤字補填に頼りしかない現状
- ・効率化の観点からAIデマンド等が進むが、なかなか利用されない

問題を広くとらえた、バックキャストが必要
・公共交通は、生活を支え、ビジネス等にも幅広く寄与
⇒ 地域のための望ましい姿があり、そこからバックキャストすることで、今やるべきことが見えるはず

しかし、最初から将来の姿を見通すのは不可能？

思い付きから深める「仮説検証型」計画づくりが必要

その方法を共有し、気運を醸成していくため、R3年度より、市町担当者を対象とした研修を実施

2 | 実施概要

3年間で徐々に仮説検証型の検討手順が整理・共有化されるとともに、徐々に戦略や進め方の議論に重点

令和3年度

実施概要 3日間の研修で、仮説検証型の計画策定の流れを経験

12市町 15名 が参加
検討対象：北広島町 江田島市 府中市

- 第1回：思い付き・アイデア出し
- 第2回：事例等を踏まえた具体化 **事例調べ**
- 第3回：進める際の課題抽出
ロードマップ作成



【研修成果】

研修前	研修後
1	2
3	4
5	6
7	8
9	10
11	12

令和4年度

実施概要 現地確認を加え4日に拡大より具体的に取組戦略を検討

12市町 14名 が参加
検討対象：福山市 安芸太田市 熊野町

- 第1回：思い付き・アイデア出し
- 第2回：現地確認・取組深掘り化 **現地**
- 第3回：取組再検討【共創の観点】
- 第4回：戦略検討・とりまとめ



【研修成果】

研修前	研修後
1	2
3	4
5	6
7	8
9	10
11	12

課題・戦略・取組を体系的に整理

令和5年度

実施概要 現地での議論を拡大どのように動かすかを重点議論

10市町 14人 が参加
検討対象：三次市 東広島市 三原市

- 第1回：思い付き・アイデア出し
- 第2回：現地確認・取組深掘り **現地**
- 第3回：位置づけ・戦略の明確化 **現地**
- 第4回：取組の進め方・場の議論

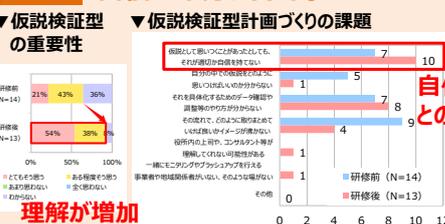


【研修成果】

研修前	研修後
1	2
3	4
5	6
7	8
9	10
11	12

計画概要としてまとめ

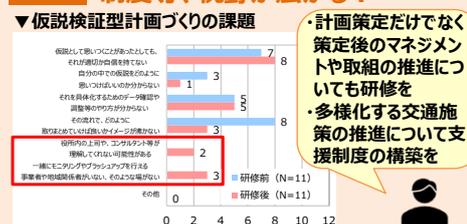
結果 重要性は理解するも、自信が十分に持てない？



結果 相談先・議論の場の有無等、実際に進める視点が強まる？



結果 マネジメント全体の研修や支援制度等、視野が広がる？



3 | 今後に向けて

結果・考察

効果 県内共通認識、素地ができてきた！
・仮説検証による実効的計画づくり必要性の認知・理解、市町の横のつながりを創出
・これが、県内の共通認識を醸成
⇒ 推進、マネジメントへ視点が深まり
⇒ 地交会議での議論も円滑に！

課題 実践・蓄積をどうするか？
・計画策定から運用に至る通貫した実践力向上
・各市町担当部署としての蓄積 (人事異動対応)

計画づくり支援の先へ

今後の展開の視点

地域での「マネジメント支援」を展開

- ✓ 地域コミュニティで前向きに展開していくマネジメント文化の蓄積が必要
- ✓ より身近な所からの実践支援が必要 (計画策定だけでなく)
- ✓ その中で、「計画」にはどういう意義があり、どう使うべきか

マネジメント人材の育成

- ・身近な実践からの全体の流れを経験する形へ
 - # スモールスタート
 - # 仲間を増やす

実践のあと押し

- ・市町のスタートアップ施策への補助を実施

その他

- ・エリア毎の連携の場づくり、個別テーマの検討支援等

検討環境整備 (データ連携基盤) ・支援の仕組み 等

参加者の声